

・議事（２） フォーラムの開催について

○協議の趣旨

市では今年度、地域の支えあいについて意識を深め、住民が地域の活動に主体的に関わっていくためのきっかけ作りとして、フォーラムの開催（１回）を予定しており、実施についてはNPOサポートはこだてに委託しているところである。

市民が共感できるフォーラムとするには、どのような構成としたら良いか、ご意見を伺いたい。なお、当フォーラムでは今後展開していくボランティア講座や第２層の話題についてのPRも含めたいと考えている。

○論点

ア 原案についての意見等

- ・ フォーラムの構成（基調講演・事例報告・ワークショップ）は原案で良いか
- ・ 時間配分、定員数、講師の数は原案で良いか
- ・ フォーラム終了後に行うアンケートの内容について、丸藤委員が各委員から取りまとめて調整するということが良いか

イ 開催時期

- ・ 『議事（１）』で協議したボランティア講座の開始時期と、第２層協議体の設置時期（11月以降）を踏まえ、いつ頃に開催するのが適当か

ウ フォーラムを活用したPRについて

- ・ 各委員でこの場を活用してPRしたいことはないか

○フォーラム（案）

1 フォーラムの形式

- ・ 基調講演・事例報告を基本とし、パネルディスカッションまたはワークショップを加えるもの … タイプA・タイプB
- ・ 基調講演・事例報告・パネルディスカッション・ワークショップのすべてを行うもの … タイプC

構成	タイプA	タイプB（事務局案）	タイプC
基調講演	1時間	1時間	1時間
事例報告	0.5時間	0.5時間	0.5時間
パネルディスカッション	1.5時間		1.5時間
ワークショップ		2.5時間	2.5時間
所要時間 計	3時間	4時間	5.5時間
最大定員	300人	100人	100人

2 タイプBとした場合の構成等

構成	目的	参加者
基調講演 (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ 地域における支えあいの重要性 ・ 目的 単身高齢者の増加や支援の担い手の不足等により、地域における支えあいが今後ますます重要になっていくことを参加者が認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師 市内または市外の方1人
事例報告 (0.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ 函館市（他〇〇市）における地域の支えあい ・ 目的 市内外の支えあい活動を知ることにより、参加者が見識を深めるとともに、その重要性について再認識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師 市内・市外の方各1人 または市内の方2人（各15分）
ワークショップ (2.5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ 地域に必要な支えあいとは何か ・ 目的 参加者が、地域で必要な支えあいの活動を考えるとともに、いま自分（たち）ができることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ 10人×10卓